

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175000520		
法人名	法人種別:医療法人	法人名:医療法人社団北星会	
事業所名	医療法人社団北星会 グループホーム ふぁみりあ		
所在地	北海道北見市北3条西3丁目13番地 アスタービル3F・4F・5F		
自己評価作成日	平成25年6月3日	評価結果市町村受理日	平成25年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「人員体制は日勤時4名、夜勤時2名確保している」 「定期的に外出を行いその地で食事をする」 「ホーム敷地内で焼き肉をしながら入居者、家族との交流を深めている」 「外出する機会を多く持ち、日光浴をしてもらうようにしている」 また近隣での買い物や散歩、甘味処などへ行き交流を図っている</p>

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	/index.php?action.kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigvosvoCd=0175000520-0
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成25年7月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>北見市中心商店街に隣接する当事業所は3ユニットで運営しています。日々の買い物にも便利で近くには法人の病院や協力医療機関があり医療面、健康面での安心感が得られています。職員は理念に掲げている「ゆっくり ゆったり ゆるやかに」を日々のケアの基本として浸透し、利用者のペースに添った利用者本位の支援に努めています。又、理念の実現化や多種多様なサービスの提供を目指し、各ユニット日勤4名、夜勤2名体制とし、余裕を持った職員配置がとられています。利用者にとって家庭的な普通の暮らしを追求する中で日常的な散歩や買い物はもとより外食、カラオケ、観光地へのドライブ見物など外出支援に大きな力を注ぎ、気分転換、心身の活性化に繋げると共に一日10分は外気に触れることを暮らしの一部として取り組んでいます。管理者は本年度雇用、勤務形態の改善を行い職員が向上心を持って働けるよう就業環境整備を図り、介護技術、知識を深めるため、職員を講師とした内部研修を充実させ、現場実践向上に活かしています。一日を通して利用者の表情は明るく、穏やかに過ごしており、利用者の持っている力を発揮できるよう管理者、職員は常に利用者向き合っています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり ゆったり ゆるやかに」を独自の理念を掲げ時間だけのゆとりにとらわれず、意識や行動に理念の目標が活かされるケアを目指している	職員は常にケアの基本として理念の実践に取り組んでいます。又、各ユニット玄関に掲示し、共有を図ると共にパンフレット、ホーム便り等にも掲載して家族を始め地域の人に事業所の目指す方向性を示しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の会合や近所で開催されている催し物に参加している	町内会に加入し、総会への参加や地域での買い物、散歩、ボランティアを活用しながら利用者を主体とした交流を心がけています。毎月ホーム便りを町内に回覧し、事業所の理解に繋がっています。保育園児との交流を計画しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ごみステーションでちらかっているごみなどの整理整頓を行っている			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で意見やアイデアを頂き、スタッフ間での話し合いで検討し実践に向けてサービス向上に活かしている	町内会会長、家族の会役員、医療関係者、地域包括支援センター職員、音楽療法士が参加して4ヶ月に一度開催し、運営状況、外出・行事・事故報告、質疑応答等で活発な話し合いが行われ、サービス向上に活かしています。議事録は利用者家族に郵送し情報の共有に努めています。	地域の協力や理解を深める機会として年6回の定期開催の検討、メンバーのあり方や議事録を職員も周知できる工夫をし、更なるサービス向上に繋げることを期待します。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者が窓口になり必要に応じて担当者と情報交換に努め、相談や助言を得ている。介護福祉課には「ふぁみりあ通信」を回覧するなどホームの理解に繋がっています。	市の介護福祉課や生活保護課、地域包括支援センターとは情報交換、相談等で常に連携を図り、協力関係を築いています。ホーム便りの配布を通じて利用者の暮らし、様子を伝えています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけません。夏の暑い日は戸を開けた状態にすることもあります。	職員は内部研修やミーティング等で話し合い、身体拘束の理解と周知に努めています。各ユニット玄関に身体拘束禁止事項を掲げ、職員はもとより家族の理解にも繋がっています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	対応の限界を感じた場合にはスタッフを交代している。そのため夜間もスタッフ2名体制にしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会への参加を促している。必要性に応じて制度利用時の説明、支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は全て読み上げ説明を行い不安や疑問等の努力に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に一度、家族会を開催している。家族から意見等を表明しやすいような環境作りをしている。	家族には運営推進会議や年1回の家族会、又、訪問時や電話で話す機会を通じて問いかけ、何でも言って貰えるよう関係作り心がけています。ポスターやホーム便りに苦情相談窓口を掲載し、意見表出を促しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度、全スタッフが参加しミーティングを行っている。必要に応じてスタッフから意見を聞いている。	管理者は毎月開催する各ユニット会議、ユニット長会議で職員の意見や提案を聞く機会とすると共に、日常のさり気ない会話を大切に運営に反映させています。内部研修の充実や就業環境整備に努め、職員の意欲向上を図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パートからパート社員、準社員、正社員への昇格がある。勤務年数や資格により昇給がある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会に積極的に参加し会議の中で報告し共有を図っている。内部研修を開催し職員の能力向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北海道認知症グループホーム協会オホーツクブロックに加入し勉強会や研修会に参加して他GHと交流を図り情報交換をしながらサービスの向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談にて本人の不安、要望等に傾聴しながら関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居面談時に今後のことや不安、心配事などを聞きながら、時間をかけてはなしあっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に見学に来て頂き、コミュニケーションを図りながら必要としている支援を見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と縫物、料理など教わりながら一緒に行っている。時には甘えたり甘えられたりと支えあうよう相互関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自室にて家族団欒が出来るよう環境作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの方が来られた時はスタッフも家族同様、会話をし次回の来設に心掛けています。また馴染みの場所、思い出の場所に一緒に外出している。	利用者一人ひとりが大事にしてきた生活習慣を尊重し、入居後も趣味を続けたり、住んでいた場所や観光地へ出掛けられるよう支援しています。友人の来訪は快く歓迎し、関係が途切れないよう働きかけています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等はたくさんの人が参加できるカルタ、トランプなどをやっている。スタッフが間に入り笑いを作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	街で会った時等、本人、又は家族の近況を聞いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	情報を共有しミーティング等で検討している。	センター方式を活用したアセスメント、日々の会話、行動から意向の把握に努めると共に、本人、家族の情報を基にした利用者の自分史の制作を通じて利用者の全体像把握にも繋がっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を家族の協力のもと作成し変化があった際は記入しいつでも読むことが出来る。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人日誌を実際の言動で記入し朝の申し送りや昨日の報告をし状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を考慮し関係者が話し合い計画を作成している。モニタリングは月に1回行い、現状に即した計画が確認している。	アセスメントを含め家族の訪問時にサービス担当者会議の開催、毎月のモニタリングを実施し、利用者、家族、関係者の意見を盛り込み、現状に即した介護計画を作成し、定期的な見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌、ケアプラン、モニタリング、センター方式、申し送り等目的に合わせて用紙を設け記入し共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入院の際、洗濯物などの対応、病室にもできるだけ多くのスタッフが顔を出すようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	音楽療法、カラオケショー等の有効活用をしながら、それぞれの能力を発揮できる支援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望で受診医を決めてもらっている。必要の際は連絡を取っている。	利用者の今迄のかかりつけ医との関係を大切に、受診は家族対応を基本とし、困難な時は支援しています。健康面では常に家族へ連絡をして連携を図りながら対応しています。又、契約の看護師により健康管理を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度、訪問看護師、看護職員が来て近況報告や相談を行いアドバイスもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はフェイスシートを提出している。お見舞いの時に状態を聞いている。退院時には文章や口頭で注意事項の説明を受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で本人、家族に希望を聞いている。また、かかりつけ医とも話し合い相談している。	利用契約時に重要事項説明書を基に、利用者、家族と重度化した場合や終末期について話し合い同意を得ています。終末期の看取り要領についてはそれぞれ該当する利用者の状況、状態により個別に作成し対応しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習をスタッフ全員受講している。緊急対応マニュアルを用意している。全員が熟知し身につけるよう努力している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防計画を作成し、消防訓練を年2回、行っている。防火安全対策研修に参加し研修報告を行い共有している。	年に2回災害避難訓練を実施したり、防火安全対策の外部研修に参加して、管理者、職員が消火、避難手順を習得し安全対策に努めています。夜間の勤務は各ユニット2名にして体制を構築しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに関する声かけは、耳元や他者に聞こえない場所で行っている。個人情報等の提示には同意書を頂いている。	管理者、職員は利用者の人格の尊重や、プライバシー保護に関して日常から会議や申し送り時に指摘をし、注意を促して、損ねないように取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	質問型や選択型等での対話を心がけている。一人ひとりに合わせ声かけを工夫し自己決定して頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その都度本人にお聞きし、一人ひとり個々に合わせ希望に添った支援ができるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望を聞き取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの希望を聞いている。米とぎ、皮むき、味付け、盛り付け等それぞれに出来ることをスタッフと一緒にやっている。	法人医療機関の栄養士に年に一度、これまでの献立を検証してもらい指導を得ています。その中で、豆類、乳製品、果物、野菜の不足が無いように気を付けながら、ユニット毎の献立で利用者と共に買い物、調理に取り組み楽しい食事になっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水運、食事量のチェック表を使用している。水分摂取量が少ない場合はゼリー、嗜好品等を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声かけ、必要に応じて介助を行っている。口臭の原因となっている虫菌や義歯の調整も含め歯科受診の検討も行っている。歯科受診時には医師や衛生士に歯磨き指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し一人一人の状態に応じてさりげない声かけを行い誘導を行っている。	利用者一人ひとりの排泄記録を基に、状態に合わせた支援を心掛けています。特に残存機能を損ねないように過剰な介護を避け、自立に向けた取り組みを行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や果物等、摂取してもらったり、ラジオ体操、散歩等の外出を促し適度な運動を行ってもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を希望された時には迅速に対応し入浴して頂けるように支援している。	入浴記録で管理をしながら一人ひとりの希望に合った支援を心掛けており、毎日入浴を希望する利用者にも対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりが馴染みの家具を使用している。それぞれが自由に自室で休養して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報ファイルを作成している。薬の追加、変更等はスタッフ全員が把握できるよう申し送りを徹底している。服薬変更時や体調等の確認も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	針仕事やオセロ、貼り絵、トランプ等のゲームにきぼうや要望に応じて一人一人の力を活かした役割や楽しく過ごせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出、買い物、散歩等本人の希望に添って支援を行っている。また希望に応じて遠方への外出は家族に参加してもらったり協力を得ている。	グループホームが利用者の家と同じようにありたいとの考えのもと、毎日の買い物や、散歩はもとより、食事、施設見学等多種多様のメニューとなっており、楽しみな時間が持てるよう支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談し本人が管理されている方もいる。買い物に付き添い、支払いを本人が行えるよう支援している。月に一度子遣い帳をコピーし家族へ送っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話をかける方もいますが、電話機の操作が困難な場合は援助を行っています。手紙は自分で読む事が困難な方や希望があった時には読み聞かせの支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は木目調で温かい雰囲気になっている。座布団を配置し家にいるような生活感にしている。外出時に撮った写真等、季節を感じさせる物を飾ったり等、工夫を行っている。	居間は木目調を基本にしており、暖かな和みのある空間を演出しています。行事やレクリエーションの写真、利用者の作品を壁に掲載し楽しい雰囲気作りを心掛けています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に過ごせるようにソファを配置している。椅子を配置し(キッチン横)一人の時間が作れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、写真等を持ってきて頂き使用して頂いている。	利用者の自分の家、自分の部屋を基本コンセプトとし、今迄使用していた筆筒や衣装ケース類の家具を配置し、壁には家族の写真や絵を飾り、観葉植物を置くなどで居心地良く暮らせるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで手すりも設置している。トイレ、洗面所は車椅子でも使用しやすいようになっている。状況に応じて家具の配置替えを行い一人ひとりが自立した生活ができるようにしている。		